

主要事業実施状況と今後の展開予定

- ①自殺総合対策事業
- ②精神科救急医療システム事業
- ③発達障がい者支援体制整備事業
- ④障がい者地域自立支援協議会
- ⑤障がい者職業能力開発プロモート事業
- ⑥障がい者人材育成・職業訓練プログラム開発事業
- ⑦障がい者ITサポート事業
- ⑧障がい者相談支援事業

事業名	自殺総合対策事業									
事業概要	<table border="1" data-bbox="365 230 1334 344"> <tr> <td data-bbox="368 230 528 344">H21予算</td> <td data-bbox="528 230 847 282">市予算:3,975千円</td> <td data-bbox="847 230 1066 344" rowspan="2">H22予算(予定)</td> <td data-bbox="1066 230 1331 282">市予算:3,801千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="528 282 847 344">県基金:2,540千円</td> <td data-bbox="1066 282 1331 344">(県基金額:未定)</td> </tr> </table> <p data-bbox="368 356 1241 392">※県基金とは、「新潟県地域自殺対策緊急強化基金事業」のこと</p> <p data-bbox="320 416 480 452">○事業目的</p> <p data-bbox="368 490 1375 629">自殺対策基本法に基づき、具体的な取り組み方針となる「自殺総合対策大綱」を受けて、本市の自殺対策を総合的に推進して自殺の防止を図り、もって市民が健康で生きがいをもって暮らすことができる「安心・安全のまちづくり」を目指す。</p> <p data-bbox="320 654 480 689">○事業内容</p> <p data-bbox="368 728 528 763">◎主な事業</p> <ol data-bbox="392 763 746 943" style="list-style-type: none"> ①自殺対策協議会の開催 ②普及啓発 ③人材育成 ④相談支援 ⑤民間団体支援 <p data-bbox="320 1001 780 1037">○平成21年度後期事業実施状況</p> <ul data-bbox="392 1064 1351 1415" style="list-style-type: none"> ▷「かかりつけ医等医療関係者研修会」(H21.10.4開催 参加者数82名) ▷多重債務相談会「心の健康相談」(H21.11.28 相談者数2名) ▷ワンストップサービスデー「こころの健康相談」 (H21.11.30,H21.12.21 相談者数14名) ▷「平成21年度第2回自殺対策協議会」(H22.2.9 出席者数51名) ▷「『新潟市自殺予防の標語』募集・決定」(H22.2.9 応募総数564作品) ▷「<u>自殺予防ゲートキーパー養成研修会</u>」(H22.2.14 参加者数371名) ▷「相談窓口情報マップ」作成・行政機関への配布 (H22.3予定 配布数6,000部) ▷「<u>『新潟市自殺予防の標語』の「懸垂幕掲出」</u>」(H22.3予定 5区役所) <p data-bbox="320 1431 813 1467">○平成22年度の事業実施予定内容</p> <ul data-bbox="392 1489 1362 1948" style="list-style-type: none"> ▷本市における自殺の現状・特徴 「男性」・「働き盛り世代」・「健康問題, 経済・生活問題」 ↓ ▷現状を踏まえた今後の基本的な取り組み ①自殺対策協議会の開催 ②普及啓発 「自殺対策フォーラム」, 「自殺予防街頭キャンペーン」, <u>「自殺予防広告掲出」</u> ③人材育成 「かかりつけ医等医療関係者研究会」, <u>「自殺予防ゲートキーパー養成講座」</u> ④相談支援 各種会場での「こころの健康相談」 <u>「相談窓口案内情報マップ配布」</u>(民間施設へ設置協力) ⑤民間団体支援 「新潟いのちの電話運営費補助」 ⑥実態把握 「<u>自殺未遂者調査</u>」 <p data-bbox="336 1984 919 2020">※下線のあるものについては、県基金事業</p>			H21予算	市予算:3,975千円	H22予算(予定)	市予算:3,801千円		県基金:2,540千円	(県基金額:未定)
H21予算	市予算:3,975千円	H22予算(予定)	市予算:3,801千円							
	県基金:2,540千円		(県基金額:未定)							

事業名	精神科救急医療システム事業						
事業概要	<table border="1" data-bbox="363 230 1334 282"> <tr> <td data-bbox="363 230 584 282">H21予算</td> <td data-bbox="584 230 847 282">4,614千円</td> <td data-bbox="847 230 1067 282">H22予算(予定)</td> <td data-bbox="1067 230 1334 282">8,787千円</td> </tr> </table> <p data-bbox="320 309 480 338">○事業目的</p> <p data-bbox="373 349 1386 454">休日と夜間において、精神疾患の急激な発症や精神症状の悪化等により緊急に医療を必要とする患者のために、精神科救急医療体制を確保することを目的とする。</p> <p data-bbox="320 510 480 539">○事業内容</p> <p data-bbox="373 551 1134 689">(1) 病院輪番体制による精神科救急医療施設の確保 (2) 新潟県精神科救急医療対策事業の実態調査の実施 (3) 精神科救急医療システム連絡調整委員会の開催 (4) 夜間ブロック複数化検討部会の開催</p> <p data-bbox="320 763 778 792">○平成21年度後期事業実施状況</p> <p data-bbox="373 808 1091 837">(1) 病院輪番体制による精神科救急医療施設の確保</p> <div data-bbox="421 864 1225 1104" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="437 869 826 898">現在の精神科救急医療システム</p> <p data-bbox="437 904 963 934">○日中(9時～17時) 県内5ブロックで輪番</p> <p data-bbox="437 940 1134 969">(日曜・祝日・土曜)「県北」「新潟・佐渡」「県央・魚沼」「上越」</p> <p data-bbox="437 976 746 1005">○夜間(17時～翌日9時)</p> <p data-bbox="453 1012 948 1041">平日 ⇒ 県立精神医療センター(長岡)</p> </div> <p data-bbox="373 1115 1091 1144">(2) 精神科救急医療システム連絡調整委員会の開催</p> <p data-bbox="426 1167 1310 1196">○第1回 平成21年7月29日 ○第2回 平成22年3月17日(予定)</p> <p data-bbox="373 1218 916 1247">(3) 夜間ブロック複数化検討部会の開催</p> <p data-bbox="426 1270 1287 1299">○第1回 平成21年10月2日 ○第2回 平成22年1月22日</p> <p data-bbox="373 1321 884 1350">(4) ブロック別病院代表者会議の開催</p> <p data-bbox="426 1373 1310 1402">○北圏域 平成22年2月15日 ○南圏域 平成22年2月16日</p> <p data-bbox="373 1424 1211 1453">(5) 県内精神科病院回りによる意見聴取及び協力依頼の実施</p> <p data-bbox="320 1525 815 1554">○平成22年度の事業実施予定内容</p> <p data-bbox="373 1576 1337 1641">1. 平成22年中に、精神科救急医療システム夜間救急2ブロック化をスタートさせる。</p> <div data-bbox="432 1666 1329 1809" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="448 1671 799 1700">予定しているシステムの概要</p> <p data-bbox="448 1706 826 1736">1. 夜間県内2ブロックの区分け</p> <p data-bbox="469 1742 788 1771">○県北・新潟・佐渡ブロック</p> </div> <p data-bbox="373 1832 1362 1897">2. 2ブロック制稼働後、現状と課題を検証し、課題解決に向けて具体的な検討を行う。</p> <p data-bbox="394 1919 1091 1948">○精神科救急医療システム連絡調整委員会の開催</p> <p data-bbox="394 1971 916 2000">○夜間ブロック複数化検討部会の開催</p> <p data-bbox="394 2022 1326 2051">○開業医の参画に向けた具体的な検討を行う。(訪問・会議等により)</p>			H21予算	4,614千円	H22予算(予定)	8,787千円
H21予算	4,614千円	H22予算(予定)	8,787千円				

事業名

発達障がい者支援体制整備事業

事業概要

H21予算	24, 217千円	H22予算(予定)	27, 117千円
-------	-----------	-----------	-----------

○事業目的

発達障がい者とその家族が豊かな地域生活を送れるように、保健、医療、福祉、教育、労働などの関係機関と連携し、ライフステージに応じた途切れのない支援を目指す。

○事業内容

①発達障がい者支援体制整備検討委員会

②発達障がい支援センター事業

乳幼児から成人までの発達障がい者とその家族の支援を総合的に行うことを目的とする専門的機関として、発達障害者支援法に基づく発達障がい支援センター事業を実施する。

○名称：新潟市発達障がい支援センター「JOIN(ジョイン)」

○開設場所：新潟市幼児ことばとこころの相談センター内(中央区水道町)

○事業内容：相談支援、発達支援、就労支援、普及啓発

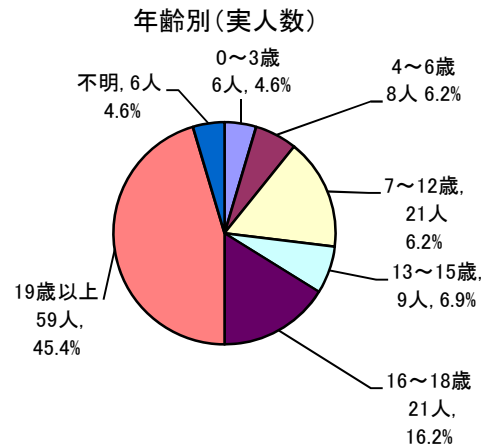
○相談実績：

集計期間：

H22.1.12～2.24

相談件数：

延223件(実130人)



○平成21年度後期事業実施状況

①第8回新潟市発達障がい者支援体制整備検討委員会の開催(H21.12.22)

②発達障がい支援センター事業の開設(H22.1.12～)

○平成22年度の事業実施予定内容

①発達障がい者支援体制整備検討委員会の開催(年2回予定)

②発達障がい支援センター事業

嘱託医による専門的相談を実施

- (1)医師による本人・家族への助言・指導
- (2)医師によるセンター職員への指示・指導
- (3)他の医療機関との連携など

事業名	障がい者地域自立支援協議会							
事業概要	<table border="1" data-bbox="368 232 1337 282"> <tr> <td data-bbox="368 232 584 282">H21予算</td> <td data-bbox="584 232 847 282">0千円</td> <td data-bbox="847 232 1062 282">H22予算(予定)</td> <td data-bbox="1062 232 1337 282">0千円</td> </tr> </table> <p data-bbox="368 342 1382 488">○事業目的 関係機関が連携・一体となって障がいのある方を支援するために協議する場として設置し、「障がいの有無にかかわらず、普通に暮らせる地域社会」を実現すること</p> <p data-bbox="368 544 1382 656">○事業内容 行政区ごとに設置する。(詳細は、資料3-2「新潟市障がい者地域自立支援協議会の再編について」)のとおり。</p> <p data-bbox="368 745 1382 981">○平成21年度後期事業実施状況</p> <ul data-bbox="368 797 1382 981" style="list-style-type: none"> ・各区ケース会議・・・月1回 ・東西連絡調整会議・・・各2回(東部10月・1月, 西部11月・2月) ・全体会・・・1回(3月) ・こども部会・・・3回(11月・1月・3月) <p data-bbox="368 1048 1382 1081">○平成22年度の事業実施予定内容</p> <ul data-bbox="368 1099 1382 1234" style="list-style-type: none"> ・各区地域自立支援協議会・・・3力月に1回 ・全体会・・・年2回 ・各部会・・・随時実施 				H21予算	0千円	H22予算(予定)	0千円
H21予算	0千円	H22予算(予定)	0千円					

事業名	障がい者職業能力開発プロモート事業																										
事業概要	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="365 230 584 282">H21予算</td> <td data-bbox="584 230 847 282">7,868千円</td> <td data-bbox="847 230 1066 282">H22予算(予定)</td> <td data-bbox="1066 230 1334 282">8,271千円</td> </tr> </table>				H21予算	7,868千円	H22予算(予定)	8,271千円																			
	H21予算	7,868千円	H22予算(予定)	8,271千円																							
<p>※国の委託を受けた政令指定都市が実施するモデル事業(補助率10/10)として、本市では平成20年度から開始(20年度予算:4,751千円)したが、22年度からはプロポーザル方式により委託先の選定が行われる予定となっている。</p> <p>○事業目的</p> <p>① 職業訓練の推進を通して、障がい者の職業能力を開発し、福祉的就労から一般就労への移行を支援する。</p> <p>② 障がい者就労支援機関の連携を図り、障がい者の態様及び学齢期から就労期までのライフステージに応じた連続的・横断的な支援体制を確立する。</p> <p>○事業内容</p> <p>①障がい者職業能力開発推進会議： 実情や問題を共有化し障がい者就労支援のあり方を検討する。</p> <p>②シンポジウム・説明会の開催： 障がい者・保護者・教職員が求める情報を発信し就労意欲を高める。</p> <p>③セミナーの開催： 求職者に対し就職力向上を目指した知見・ノウハウを提供する。</p> <p>④職業体験の実施： 役所内での受入れを通して特別支援学校生の職業意識の醸成を促進する。</p> <p>⑤広報物の発行： 障がい者や事業主向けのガイドブックを発行し、就労／雇用制度の利用を促進</p> <p>※上記事業の先導役となるプロモーター2名を障がい福祉課に配置する。</p> <p>○平成21年度後期事業実施状況</p> <table border="1" data-bbox="365 1256 1334 1843"> <thead> <tr> <th data-bbox="365 1256 475 1305">開催日</th> <th data-bbox="475 1256 584 1305"></th> <th data-bbox="584 1256 906 1305">参加者</th> <th data-bbox="906 1256 1334 1305">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="365 1305 475 1406">職業体験</td> <td data-bbox="475 1305 584 1406">12月</td> <td data-bbox="584 1305 906 1406">特別支援学校5校のべ11人:知的7人,肢体不自由2人,聴覚2人</td> <td data-bbox="906 1305 1334 1406">障がい福祉課における事務補助業務</td> </tr> <tr> <td data-bbox="365 1406 475 1507">シンポジウム</td> <td data-bbox="475 1406 584 1507">22年1月23日</td> <td data-bbox="584 1406 906 1507">保護者・特別支援学校の教職員, 一般市民等251人</td> <td data-bbox="906 1406 1334 1507">県外の特例子会社担当者の講演, 支援制度の使い方に関する説明, 働く障がいのある方の体験談発表</td> </tr> <tr> <td data-bbox="365 1507 475 1608">説明会</td> <td data-bbox="475 1507 584 1608">1~2月</td> <td data-bbox="584 1507 906 1608">特別支援学校3校(知的)の生徒・保護者・教職員</td> <td data-bbox="906 1507 1334 1608">「社会人としてのマナー」「お金に関するトラブル」を寸劇仕立てで説明</td> </tr> <tr> <td data-bbox="365 1608 475 1765">セミナー</td> <td data-bbox="475 1608 584 1765">1~2月</td> <td data-bbox="584 1608 906 1765">一般就労を目指す障がい者</td> <td data-bbox="906 1608 1334 1765">就職力をアップするためにワークショップ形式で身体, 知的, 精神の障がい別に実施 *「知的」「精神」向けは社会福祉法人に委託</td> </tr> <tr> <td data-bbox="365 1765 475 1843">推進会議</td> <td data-bbox="475 1765 584 1843">3月</td> <td data-bbox="584 1765 906 1843">委員: 企業, 教育, 福祉の代表者21人</td> <td data-bbox="906 1765 1334 1843">今年度事業報告, 次年度事業計画案の検討等</td> </tr> </tbody> </table> <p>○平成22年度の事業実施予定内容</p> <p>基本的には「事業内容」欄に記載した事業を継続的に実施するが、運営方法や内容に関しては、参加者からのアンケート結果等をもとに内容を見直し、ニーズを反映したものとする。また、22年度から新たに「事業主」を対象としたセミナーも開催する予定である。</p>				開催日		参加者	内容	職業体験	12月	特別支援学校5校のべ11人:知的7人,肢体不自由2人,聴覚2人	障がい福祉課における事務補助業務	シンポジウム	22年1月23日	保護者・特別支援学校の教職員, 一般市民等251人	県外の特例子会社担当者の講演, 支援制度の使い方に関する説明, 働く障がいのある方の体験談発表	説明会	1~2月	特別支援学校3校(知的)の生徒・保護者・教職員	「社会人としてのマナー」「お金に関するトラブル」を寸劇仕立てで説明	セミナー	1~2月	一般就労を目指す障がい者	就職力をアップするためにワークショップ形式で身体, 知的, 精神の障がい別に実施 *「知的」「精神」向けは社会福祉法人に委託	推進会議	3月	委員: 企業, 教育, 福祉の代表者21人	今年度事業報告, 次年度事業計画案の検討等
開催日		参加者	内容																								
職業体験	12月	特別支援学校5校のべ11人:知的7人,肢体不自由2人,聴覚2人	障がい福祉課における事務補助業務																								
シンポジウム	22年1月23日	保護者・特別支援学校の教職員, 一般市民等251人	県外の特例子会社担当者の講演, 支援制度の使い方に関する説明, 働く障がいのある方の体験談発表																								
説明会	1~2月	特別支援学校3校(知的)の生徒・保護者・教職員	「社会人としてのマナー」「お金に関するトラブル」を寸劇仕立てで説明																								
セミナー	1~2月	一般就労を目指す障がい者	就職力をアップするためにワークショップ形式で身体, 知的, 精神の障がい別に実施 *「知的」「精神」向けは社会福祉法人に委託																								
推進会議	3月	委員: 企業, 教育, 福祉の代表者21人	今年度事業報告, 次年度事業計画案の検討等																								

事業名	障がい者人材育成・職業訓練プログラム開発事業							
事業概要	<table border="1" data-bbox="363 232 1334 286"> <tr> <td data-bbox="363 232 584 286">H21予算</td> <td data-bbox="584 232 852 286">0円</td> <td data-bbox="852 232 1066 286">H22予算(予定)</td> <td data-bbox="1066 232 1334 286">565千円</td> </tr> </table> <p data-bbox="368 344 1410 645">○事業目的 障害者自立支援法の施行により、障がい者の就労に向けた機運が高まっているが、中心となる障がい者本人や支援をするべき施設職員の就労に対する意識や能力が乏しいことから、市と福祉関係事業者、教育機関が連携して、人材育成や職業訓練のための教育プログラム開発をすることにより、障がい者の就労促進を図る。</p> <p data-bbox="368 712 1342 958">○事業内容 ①障がい者本人を対象とした企業ニーズに沿った職業訓練を行うことで、訓練の効率化と訓練効果の最大効果を図る。 ②施設職員の意識・支援スキルの向上により、障がい者雇用をリードしていく人材を育成する。</p> <p data-bbox="368 1025 1342 1272">○平成21年度後期事業実施状況 20年度に新潟労働局と共同で実施した、市内の法定雇用率が適用される企業および障がい者就労支援施設向け「雇用・就労実態調査」(詳細は下記のとおり)の結果をもとに、GIS地理情報を活用して地域特性を把握する二次分析を実施した。</p> <div data-bbox="363 1330 1390 1697" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="368 1339 778 1375">※「雇用・就労実態調査」詳細</p> <ul data-bbox="368 1393 1374 1688" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="368 1393 1374 1482">・企業向け調査：調査対象者543社 分析対象者406社(回収率74.8%) 障がい者の雇用状況、雇用上の課題、支援機関・制度の認知・利用状況等 <li data-bbox="368 1496 1374 1585">・施設向け調査：調査対象者69施設 分析対象者65施設(回収率94.2%) 利用者の就職希望および見込率・実際の就職状況 就労支援実施状況・就労支援の潜在的ニーズ等 <li data-bbox="368 1599 938 1688">・調査・分析は新潟医療福祉大学に委託。 </div> <p data-bbox="368 1756 1385 1899">○平成22年度の事業実施予定内容 スキルアッププログラム案を作成し、セミナーを試行的に実施する。 プログラムの本格的運用に必要なデータを収集し、プログラム案を再考する。</p>				H21予算	0円	H22予算(予定)	565千円
H21予算	0円	H22予算(予定)	565千円					

事業名	障がい者ITサポート事業							
事業概要	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="368 235 584 275">H21予算</td> <td data-bbox="584 235 847 275">5,000千円</td> <td data-bbox="847 235 1062 275">H22予算(予定)</td> <td data-bbox="1062 235 1331 275">6,060千円</td> </tr> </table>				H21予算	5,000千円	H22予算(予定)	6,060千円
	H21予算	5,000千円	H22予算(予定)	6,060千円				
<p>○事業目的 障がいの特性に合わせたIT(情報技術)の習得を支援することにより、障がい者の在宅での就業と社会参加の促進を図る。</p> <p>○事業内容 平成20年度から23年度までの3ヵ年試行事業として、新潟大学と連携し、同大学工学部福祉人間工学科へ研究委託する。大学内にITサポートセンターを設置し、支援技術についての相談・指導・情報提供を行う。</p> <p>○平成21年度後期事業実施状況</p> <p>①相談支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話、メール等で支援技術に関する相談受け付け 11月～2月相談件数 147件(前年同期比+74件) ・大学公開講座や民間パソコン教室との連携による技術訓練の場の提供 <p>②支援環境整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援ボランティア育成のための福祉情報技術の資格取得支援 ・教育機関等へ出向いてのITのデモや講座の実施 <p>○平成22年度の事業実施予定内容</p> <p>上記に加え、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の就労・就業支援組織と「就労支援ネットワーク」を構築し、IT機器を利用しての就業支援を試行的に実施。 ・事業最終年度に当たり、検証作業と総括報告を行う。 								

事業名	障がい者相談支援事業						
事業概要	<table border="1" data-bbox="368 232 1337 282"> <tr> <td data-bbox="368 232 584 282">H21予算</td> <td data-bbox="584 232 847 282">42, 520千円</td> <td data-bbox="847 232 1062 282">H22予算(予定)</td> <td data-bbox="1062 232 1337 282">50, 405千円</td> </tr> </table> <p data-bbox="368 338 1383 562">○事業目的 在宅の障がい者に対し、在宅福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や社会生産力を高めるための支援、ピアカウンセリング、介護相談及び情報の提供等を総合的におこなうことにより、障がい者やその家族の地域における生活を支援し、もって在宅の障がい者の自立と社会参加の促進を図る。</p> <p data-bbox="368 640 1383 1111">○事業内容 1. 一般的な相談支援 (1)福祉サービスの利用援助(情報提供、相談等) (2)社会資源を活用するための支援 (3)社会性活力を高めるための支援 (4)ピアカウンセリング (同じ障害のあるスタッフが同じ立場で相談に応じる) (5)権利の擁護のために必要な援助 (6)地域自立支援協議会の運営(H19年12月設置) 2. 市町村相談支援機能強化事業 専門的な相談支援等を要する困難ケース等への対応 H19～H21は、社協・とよさか・CILで実施。 ※平成22年より、機能強化事業所を一箇所増設予定。</p> <p data-bbox="368 1189 1383 1290">○平成21年度後期事業実施状況 ・10個所で実施(機能強化3か所)</p> <p data-bbox="368 1346 1383 1447">○平成22年度の事業実施予定内容 ・10個所で実施(機能強化4か所)</p> <p data-bbox="368 1458 1383 1536">※精神障がい者への相談支援を強化するため相談員の増員を機能強化事業で行う予定。</p>			H21予算	42, 520千円	H22予算(予定)	50, 405千円
H21予算	42, 520千円	H22予算(予定)	50, 405千円				